

第10回(2018年)

# 高知オレンジリボン キャンペーン 活動報告書



## オレンジリボンキャンペーンとは？

### 趣旨

児童虐待に関する相談件数は増加の一途をたどっており、社会全体で早急に解決すべき課題となっています。高知県内でも平成26年12月末、3歳女児が母親と叔母から暴行を受け亡くなるという痛ましい事件が発生しました。二度とこのようなことが起こらないためにも、虐待の発生予防、早期発見、早期対応が重要です。これらの総合的な支援や対策には子どもや子育て家庭に携わる援助関係者や地域の人々の理解を深めていくことが不可欠です。このため家庭や学校、地域など、社会全般にわたり児童虐待問題に対する深い関心と理解が得られることを目的として、オレンジリボンキャンペーンを行っています。

### オレンジリボンキャンペーンの始まり

平成16年9月、栃木県小山市で2人の幼い兄弟が虐待の末、橋の上から投げ込まれ亡くなるという痛ましい事件がありました。「二度とこのような悲劇がおこらないように」との願いから、オレンジリボンキャンペーンは始まりました。

### シンボルのオレンジリボンについて

オレンジ色は里子である子ども達が選んだ色です。オレンジリボンには「お話ししましょう、気持ちを分かち合いませんか。自分の気持ちに気付くことは子ども虐待の予防につながります」というメッセージが込められています。

### 高知県では

2009年より高知県内各市町村、地域の方々、企業や団体にご協力いただき、(社福)社会福祉協議会、高知県児童養護施設協議会、高知県児童家庭支援センター協議会が中心になりオレンジリボンキャンペーン実行委員会を結成し、子ども虐待防止のオレンジリボンキャンペーンに取り組んでいます。

今年で10回目になり、一人でも多くの方に虐待防止に関心をもっていただき、子どもを地域で守り育てる意識をもっていただけるよう活動しています。

## 高知オレンジリボンキャンペーン2018

平成30年度「第10回 高知オレンジリボンキャンペーン2018」が多くの皆様のご参加、ご協力によって無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。

「子どもと家族の笑顔のために」をスローガンに掲げて高知県内で活動を開始して10年の年月を経ました。少しずつ、少しずつ、オレンジリボンが認知され、子育て家族に温かいまなざしと優しい言葉がかけられる高知県へと進んでいると感じています。

子ども虐待のニュースが後を断たない現実があります。子育てに悩み苦しんでいる方がいます。どのように子どもに向き合えばいいのか分からず戸惑っている方がいます。様々な生きづらさを抱え、子どもにその怒りや悲しみが向かい、不適切な養育をしてしまう方がいます。そしてまた、子育て家族をあたたく支援してくださる地域の方々の存在で助けられている方もたくさんいます。

高知県が子育て家族だけでなく、子どもから高齢の方、様々なハンデがある方、全ての人にやさしい地域社会になるように、今後もこのオレンジリボン運動に取り組んでまいります。

今年度の活動内容を報告書としてまとめましたので、是非みなさまにご覧いただければ幸いです。今後とも一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

実行委員長 谷本 恭子(高知県児童養護施設協議会 会長)



# 高知オレンジリボンキャンペーン 2018 活動内容

## たすきウォーク

実施日 平成30年10月21日(日)



清和女子中高等学校のバトン部の2人を先頭に城北中学校吹奏楽部の皆様のマーチングで、常屋町アーケードの中央公園前～ひろめ市場付近までをパレードしました。華やかなパレードとなりました。



みんなの思いを一つに

たくさんの方が一緒に歩いてくれました。



城北中学校吹奏楽部の皆様  
清和女子中高等学校バトン部の皆様  
ご協力ありがとうございました。

ボランティアにご協力して下さった  
皆様ありがとうございました。

## 講演会

テーマ 発達障害をもつ子どもへの虐待対応～早期からの家族支援～

講師 愛知県心身障害者コロニー中央病院 児童精神科 医長 吉川 徹 氏

西部会場: 日にち 平成30年10月27日(土)  
会場 宿毛市総合社会福祉センター  
2階 小会議室  
参加者 79名

中部会場: 日にち 平成30年10月28日(日)  
会場 佐川町総合文化センター  
参加者 80名



・今まで、聞きたくて、知りたくて、ずっと悩んでいた事を聞いて良かったです。すごく分かりやすかったし、楽に聞けました。

・子ども支援だけでなく家族への支援も大切である為、今日学んだ事を活かして関わっていきたい。

(アンケートより)

## 児童虐待防止推進月間事業(広報・啓発事業)

○高知県庁児童虐待防止横断幕提示(平成30年11月1日～11月30日)

○啓発ポスター・チラシなどの作成及び配布

○オレンジリボングッズの配布

\*協力依頼 各市町村、児童福祉関係機関、保育園、学校、病院など

○各種イベントでの啓発活動

\*パネル提示、ポスター提示、チラシ・啓発グッズ配布等

・ガーデンパーティー (平成30年5月26日) / 児童養護施設 若草園

・第10回 みさとフェア(平成30年11月18日) / 三里中学校

・第22回 じんけんふれあいフェスタ(平成30年12月9日) / 高知中央公園

○広報

\*県及び市町村広報・新聞広告・他の情報誌掲載

テレビ・ラジオ告知



## 啓発を支えるグッズたち



高知オレンジリボンキャンペーン活動に募金をいただいたお礼として、啓発グッズをお渡しています。

いただいた募金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただいております。子ども虐待のない社会を実現するために「オレンジリボン運動」とともに支え、オレンジリボンの輪を広げて下さいますよう、ご協力お願いいたします。

## 子どもを虐待から守るための5か条

(厚生労働省リーフレットより)

- 1 「おかしい」と感じたら迷わず連絡(通告)  
(通告は義務=権利)
- 2 「しつけのつもり」は言い訳(子どもの立場で判断)
- 3 ひとりで抱え込まない(あなたにできることから即実行)
- 4 親の立場より子どもの立場(子どもの命が最優先)
- 5 虐待はあなたの周りでも起こりうる(特別なことではない)

**あなたからの連絡が、子どもを虐待から  
守るための大きな一歩となります**

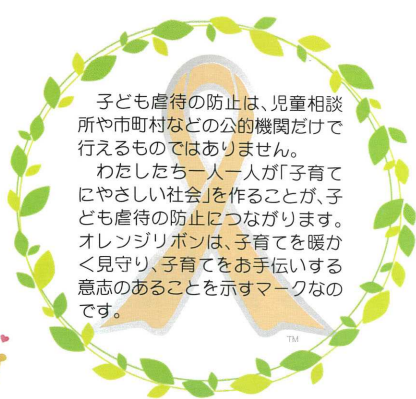


募 金

ご協力ありがとうございます  
株式会社永野基礎さま  
その他募金をいただいた皆様



子どもに希望あふれた明るい未来を  
届けるために“子ども虐待予防の輪”を  
みんなで拡げていきましょう。  
ご理解とご協力をお願いいたします。



● 共 催 ●

高知県

● 後 援 ●

高知県内 各市町村

高知県教育委員会

高知県民生委員児童委員協議会連合会

高知県少年補導育成センター連絡協議会

全国児童家庭支援センター協議会

高知県市町村社会福祉協議会連絡会

高知県立大学

高知医療学院

高知福祉専門学校

平成福祉専門学校

NHK高知放送局

RKC高知放送

読賣新聞高知支局

高知県保育士会

高知地方法務局

高知県内親連合会

子どもの虹情報研修センター

高知弁護士会

高知学園短期大学

高知県医師会看護専門学校

高知リハビリテーション学院

龍馬看護ふくし専門学校

KUTVテレビ高知

高知新聞社

産経新聞社高知支局

高知県警察

高知県人権擁護委員連合会

認定NPO法人カンガルーの会

高知大学

高知県医師会

高知県立幡多看護専門学校

高知県医師会准看護学院

土佐リハビリテーションカレッジ

四万十看護学院

KSSさんさんテレビ

朝日新聞高知総局

毎日新聞高知支局

● 協 賛 ●

(財)高知県福祉活動支援基金

(公財)資生堂社会福祉事業財団

● 協力企業 ●

株式会社 大塚製薬工場 Handmade雑貨にこ

● 主 催 ●

高知オレンジリボンキャンペーン2018実行委員会

高知県社会福祉協議会・高知県児童養護施設協議会・高知県児童家庭支援センター協議会

実行委員長／高知県児童養護施設協議会 会長 谷本 恭子

\* こどもや家庭のことで、困っていることや心配なことがあれば、お気軽にご相談ください \*

児童家庭支援センター  
高知みその

TEL 088-872-6488

高知市新本町1丁目7-30

児童家庭支援センター  
高知ふれんど

TEL 088-803-5550

高知市新本町1丁目7-30

児童家庭支援センター  
ひだまり

TEL 0889-20-0203

高岡郡佐川町甲1110-1

児童家庭支援センター  
わかさ

TEL 0880-33-0258

四万十市下田2111

\* 虐待かな？と思ったら、各市町村窓口・児童相談所に連絡してください \*

高知県中央児童相談所

TEL 088-821-6700

高知市若草町10-5

高知県幡多児童相談所

TEL 0880-37-3159

四万十市渡川1丁目6-21

連絡は匿名で行うことも可能  
です。連絡者や、連絡内容に関  
する秘密は守られます。

高  
知  
家



児童相談所  
全国共通  
ダイヤル

1 8 9

子どもたちや子育てに悩む保護者のSOSの声をいちはやくキャッチ!

～189番にかけると、お近くの児童相談所につながります～